



全国の販売店様をご紹介

No.208

ねんどのお店だより 2025 年 5 月号

季節の野菜とコモノの店 PAPU

当時、野菜難民だった私は、信頼できる農家さんから直接仕入れた野菜を販売する八百屋になることを決めました。そして手先の器用な主人がサラリーマンの傍らに作る、ウッドクラフトやレザークラフトの雑貨も並べて、『季節の野菜とコモノの店・PAPU』をオープンしました。包丁研ぎも承っています。オープンしたては屋根が無く青空市のようなでしたが、日差しが強くなる頃には、テントをたてて営業するようになりました。



苦労話になりますが、テントの設営と店出しに3時間+撤収に2時間=合計5時間の店づくりはかなりの労力が必要でした。週に1, 2回の営業でしたので、毎回店出しと片付けをしなければいけません。主人が仕事の日はまだ早朝暗いうちからテントを設営し、そのあと主人は出勤。残りの店出しは、私一人ですということになります。真冬は手が悴んで思うように動かないし、寒いし暗いし。雨の日はずっと大変です。仕入れてしまってるので野菜は売らないといけなし、テントの外から吹き込む雨で濡れるし、来て下さるお客様が濡れないようにテントに入ってもらおうと、私が濡れてしまうのでお客様が私に傘をさしてくださったり…。晴れていても、強風のときは大変です。POPや軽い野菜は飛んでいきます。それを追いかけてたり…てんやわんやです(笑)。

そんなテントでの営業を3年間続け、4年目の2024年に小さな倉庫のような小屋を建てました。これで雨と風が凌げます。全部の商品を撤収する必要がないので、店出しや片付けの時間を他の仕事にあてられます。野菜だけでなく、加工食品や日持ちのする焼き菓子なども、テント時代よりも多数販売できることになりました。食品以外の雑貨もおけます！そして店の商品構成を再考し、旬の野菜しかない不便な八百屋であり、作り手さんの顔がわかる、安心して食べたり使ったりできる商材をご紹介するお店にアップグレードいたしました。

そこでご縁があって紹介していただいたのが、ボディクレイさんのシリーズです。私はスキンケア難民でもありましたので、使ってみてその良さに気づくのに時間はかかりませんでした。フルライン揃えて使う必要もなく、自分の状態にあったものを使える。PAPUで人気なのは「ねんどのパック」です。花粉症で肌が荒れて痛いときや、頭皮のケア、オイルと混ぜ合わせてオリジナルのクリームにも使えます。特に「ねんどのパック・森の香り—深呼吸」は香りもよく、パックしている間も癒されます。世の中は情報も品物もあふれていますが、使う人が何を求めているのか、その人に必要なものが何なのか？はそれぞれです。お客様にお話を伺って、私がおすすめるものを気に入っていただけたらうれしいです。



PAPUでは年に一度、ご近所のちびっこたちが主役の「ちびっこまるしえ」を開催しています。ちいさな店員さんたちが、PAPUの野菜を販売します。お客さま役のちびっこもいれば、本当のお客さまもいて、小さな店員さんを見たさに、ご近所の高齢者の方も来られたりして、微笑ましい風景です。その日は、コーヒースタンドも出て住宅街が少し賑わいます。これからも、野菜は旬のものしかないけれど、来てくださった方が何か好きなものを見つけておしゃべりをして、笑顔で帰ってくださるお店でいたいです。

PAPU 芦田美加

ごめんなさい！旬の野菜しかない不便な八百屋 PAPU です。
兵庫県西宮市の甲山の麓にある自宅の前で八百屋をオープンしたのは、2021年3月のこと。その年は庭のミモザが満開で、ご近所の方に差し上げようと、ガレージに並べてみました。住宅街にもかかわらず、どこで聞かれたのか？たくさんの方がミモザを求めて集まって下さいました。こんなに人が来て下さることに驚き、それなら集まってもらえることをしよう！と思ったのがきっかけです。



PAPU

〒662-0815

兵庫県西宮市仁川百合野町 8-5

open 水曜日(隔週) 木曜日 11-19時

イベント出店の代休 天候等で臨時休業有

